

2019年度 放射線（診療）業務従事者の教育訓練（講習会）開催記

神奈川県放射線管理士部会
（横須賀市立市民病院） 田島尚人

2019年度「放射線（診療）業務従事者の教育訓練（講習会）」は2019年5月19日（日）に聖マリアンナ医科大学病院 本館3階 大講堂で開催いたしました。

主催は神奈川県放射線管理士部会、共催は神奈川核医学研究会、神奈川県放射線治療技術研究会、後援は（公社）神奈川県放射線技師会、（公社）日本放射線技術学会・関東支部、日本放射線公衆安全学会、日本放射線治療専門放射線技師認定機構、日本核医学専門技師認定機構、（特）日本核医学技術学会による開催です。放射線障害防止法等、現場で実際に関係する各種法令を踏まえ、より現状に則した放射線管理の実践に役立つ内容となるように準備いたしました。

講義1. 「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いⅠ」（放射線治療：品質管理のポイント）は、早川 和重 氏（独立行政法人国立病院機構 災害医療センター）を講師に、放射線治療に関わる医療ミスを起こさない対策と、そのシステム作りの重要性について、ご講演いただきました。

講義2. 「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いⅡ」（放射線治療（密封小線源治療について：密封小線源治療トラブル対応））は、熊谷 仁 氏（帝京大学医学部附属病院）を講師に、実際に発生した密封小線源線源閉塞事故の詳細と事故に対する部門ごとの対応、事故を教訓とした取り組みについて、ご講演いただきました。

講義3. 「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いⅢ」（大規模事業所内小規模放射線施設（リニアック1台のみ）における放射線管理の例）は、伊藤 照生 氏（東邦大学医療センター佐倉病院）を講師に、自院における改正法令の対応と予防規程の改定について、ご講演いただきました。

講義4. 「放射線障害の防止に関する法令及び放射線障害予防規程」（新RI法への対応）は、渡邊 浩 氏（群馬パース大学）を講師に、改正RI法の概要と課題、今後のスケジュール等について、ご講演いただきました。



ランチョンセミナーでは、日本メジフィジックス株式会社様より、NMPポータルサイトとPET市場動向について紹介いただきました。

講義5.「放射線の人体に与える影響」は、島田 義也 氏（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構）を講師に、DNA切断からはじまる放射線影響の基本とがんリスク、ヒトの発がん要因についてお話しいただき、それらを踏まえて胸部CT検査による発がんリスクについて、ご講演いただきました。

講義6.「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いIV」（看護と放射線、それと倫理：ある事例から）は、小西 恵美子 氏（鹿児島大学医学部客員研究員・長野県看護大学名誉教授）を講師に、事故・異常時の医療者の責務や対応について、ご自身の経験を基に、ご講演いただきました。

講義7.「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取扱いVサイクロトロンを有するPET施設での放射線管理」は、小野 光弘 氏（医療法人社団三成会）を講師に、PET施設に関する法令を踏まえた放射線管理について自施設の紹介を交えながら、ご講演いただきました。



講師の方々には充実した内容の講義を行っていただき長時間の講習会でしたが、参加者の皆様には最後まで聴講をして頂きました。本講習会で得た内容を少しでもご自身の施設で役立てて頂けたらと思います。今後も、神奈川県放射線管理士部会は、参加者の皆様の日々の放射線管理に役立つ企画と活発な意見交換を行っていききたいと思います。聞いてみたい講演、演習したい内容、企画、講師等ご意見・ご要望がございましたら、神奈川県放射線管理士部会 <http://krsv.umin.jp/> まで、ご連絡いただけたら幸いです。